

SNS について考えよう -プレゼンテーションコンテスト-

実践概要

情報モラルに関する問題・課題を解決するための方策について、プレゼンテーションを行わせるとともに、プレゼンテーションの内容について、話し合わせる。

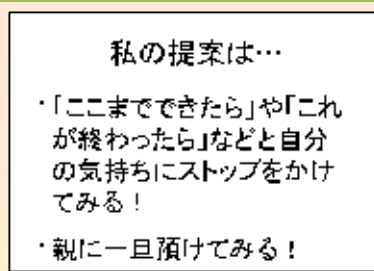
本時の流れ

	主な学習活動	○指導上の留意点 ★評価内容等
導入	●本時の問題を理解する。	
展開	<ul style="list-style-type: none"> ●「プレゼンテーションコンテスト」を行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・SNS 利用時の注意点について、前時までに自ら作成したスライドを用いて発表する。 ●カードにより相互評価を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○生徒の実態に合わせてマイク、音声補助装置等を使用する。 ○登校が難しい生徒は遠隔授業にて参加できるようにする。 ○「いいね!」、「ちょーいいね!」カードにより意思を表明させる。 ○自分と相手の違いを感じ取りやすくなるよう、選択した意見を提示する。 ★情報モラルに関する問題を積極的に解決しようとしている。
まとめ	●SNS 利用時の注意について理解する。	○スライドをモニタに提示して伝える。

ここに注目！（本事例のポイント）



① 生徒作成スライド例「パスワードの設定について」
文字を入れ替える、自分で考えたニックネームを使う、いろいろな種類の文字を使うといった方策を提案。視線入力装置を用いた音声補助によりプレゼンテーションを行った。



② 生徒作成スライド例「使い過ぎについて」
自ら生活を基に、使い過ぎないようにするための方策を提案した。

③ 「いいね!」、「ちょーいいね!」カード
意思を表出しやすくするために用いたカード。ストローを持ち手に、プラカードにして使用。プレゼンテーションコンテストの得点の数値と併せて標記したことで、生徒間での相互評価もしやすくなった。